

第90回 ISO産業データ国際委員会国際会議
公開会議「インダストリーデイ」のご案内

ISO/TC 184/SC 4 国内対策委員会
委員長 相馬淳人

近年ものづくりの領域では、組織や国境を越えた製品ライフサイクルデータの相互運用性実現や、カーボンニュートラルや循環経済といった国際アジェンダへの対応に加え、コロナやウクライナ紛争など、予測の難しい社会情勢の目まぐるしい変化への対応が大きな課題です。その解決にはデジタル空間における徹底したデータの知的利活用が必要ですが、その実現には多くのステークホルダーによる国際コンセンサスが必須であることから、国際標準の重要性が急速に高まりつつあります。

今回、この分野における国際標準化を担うISO最大の委員会、ISO/TC 184/SC 4（ISO産業データ委員会、以下 SC 4）の第90回国際会議を長崎市で1週間にわたり開催されます。その中日(10月29日)に開催される、「公開カンファレンス”インダストリーデイ (Industry Day)”へのご案内です。

インダストリーデイは、開催国産業界と国際標準専門家による発表と意見交換を通じて、国際標準を基盤としたものづくりの最新情報をお届けするとともに、国内の産業界が「ルールに従う側」から「ルールを作る側」へ意識の変革を促し、事業競争力を活性化することを狙っています。

SC 4は、三次元 CAD の国際標準である STEP (ISO 10303)、JT (ISO 14306)、QIF (ISO 23952)、またプラントなど大規模社会資本設備のライフサイクルデータの意味的相互運用性実現に欠かせないオントロジー辞書や共通データモデルを定めるISO 15926シリーズやISO 23726シリーズ、さらにはISO 9000シリーズのデータ版として知られる分野横断のデータ品質標準ISO 8000 シリーズ等、製造業の DX 推進を下支えする様々な重要標準群を開発しています。

さて今回のインダストリーデイは、“Agile and Resilient Industry powered by Standardized Digital Ecosystem”と銘うち、デジタルエコシステムを中心とした専門家による最先端の12件の講演とパネルディスカッションを予定しています。ネットワークングの時間も設けておりますので、この貴重な機会をぜひご活用ください。

日時	令和 7 年 1 0 月 2 9 日 (水) 9時 ~18時 (受付開始: 8 時30分)
会場	出島メッセ長崎 1F - 101会議室 〒850-0058長崎県長崎市尾上町4-1 (JR長崎駅隣接) 会場紹介: https://dejima-messe.jp/ アクセス: https://dejima-messe.jp/access
申込	無料・要申込 申込ページ: https://www.mstc.or.jp/topics/event/content-11.php
定員	100名 (申込受付先着順)
締切	令和 7 年 1 0 月 2 2 日 (水)
言語	英語 (およびライブ日本語自動翻訳字幕つき、日本語資料を準備)

主催	一般財団法人製造科学技術センター、一般財団法人エンジニアリング協会
協賛	一般財団法人エンジニアリング協会、三菱重工業株式会社、株式会社エリジオン様、株式会社オウルズコンサルティンググループ様、システム・ファイブ株式会社様、横河電機株式会社様
	<p>※プログラムは現在調整中につき、タイトル・講演者が変わる可能性があります。</p> <p>09:00 ~ 09:30 Opening (ご来賓あいさつ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済産業省国際標準課課長 中野真吾様 ・長崎市長 鈴木史朗様 ・国立大学法人長崎大学副学長 山本郁夫様 ・一般財団法人製造科学技術センター(MSTC) 専務理事 阿部 聡様 ・一般財団法人エンジニアリング協会(ENAA) 理事長 寺嶋清隆様 <p>09:20 ~ 11:20 Session 1 Foundation of Standards for Digital Ecosystem デジタルエコシステムを支える国際標準の概要</p> <p>「PLM 相互運用性と標準化40年の未開拓の価値」 Kenneth Swope氏, SC 4国際議長、米Boeing社 「製品データ標準がデジタルスレッドとデジタルツインの普及を加速する」 Jean Brangé氏, 仏AFNeT Services 「デジタルエコシステムが実現する真のデータ統合」 Timothy King博士, 英BAE Systems社 「生成AI とウラノス・エコシステムによるDX のバージョンアップ」 浦川伸一氏, 一般社団法人ウラノス・エコシステム推進センター代表理事</p> <p>11:20 ~ 12:15 ランチブレイク</p> <p>12:15 ~ 14:45 Session 2 Digital Ecosystem – Engineering and Manufacturing デジタルエコシステム - エンジニアリングと製造の革新</p> <p>「デジタルエンジニアリングを活用した民間航空機開発」 長倉 宏至氏, 三菱重工業株式会社 「デジタルツインエンジンを活用した大規模製品の適応製造と多国籍協力」 マーティン・ハードウィック氏, STEP Tools, Inc. 「日本の自動車業界におけるOEM/仕入先間のデータ流通課題」 大谷史樹氏, トヨタ自動車株式会社 「リンクトデータからライブコラボレーションへ：CDT、LCE、Catena-X によるエンジニアリングの進化」 Max Ungerer氏, 独エンジニアリングコンサルタント</p> <p>「plantOS におけるデジタルツインおよびデータ活用の進展」 古市 和也</p> <p>14:45 ~ 15:00 Coffee break and networking</p> <p>15:00 ~ 17:30 Session 3 Digital Ecosystem – Product Lifecycle Data Management デジタルエコシステム - 製品データライフサイクルマネジメントの革新</p> <p>「デジタルスレッドのための工学データの適正化」インジニア・L.C. (レオ)・ファン・レイフエン MSc 博士, Croonwolter&dros B.V. 「石油ガス業界における人工知能とアドバンスワークパッケージ (図書からデータへ)」 林 幹高氏, MODS マネジメント エンタープライズアーキテクト担当副社長 「スマートメンテナンスとISO 23726 に基づくオントロジーの相互運用性基準」 メリンダ・ホドキエヴィッツ博士, 西オーストラリア大学 「スマートTBM (トンネルボーリングマシン) : 標準化による未来への展望」 リュウ・ダン博士, 中国鉄建重工業有限公司企業上級顧問 「多機能統合のためのスマート施設におけるエコシステム全体の相互運用性に関する包括的フレームワーク」 ユン・ヨンスー教授、明知大学校</p> <p>17:30 ~ 17:40 Closing おわりに</p> <p>「おわりに」 相馬淳人氏、SC 4国内対策委員会委員長、日本代表団長、株式会社エリジオン社長</p>

問合先	〒105-0004 東京都港区新橋 3 - 4 - 1 0 新橋企画ビルディング 4 階 一般財団法人 製造科学技術センター(MSTC)北山、調 (industry_day@mstc.or.jp) TEL 03-3500-4891 FAX 03-3500-4895
-----	--